

第28回「アフリカの子どもの日」 in Kumamoto

～地球温暖化の危機に具体的な対策を～

宣 言

今、私たちは地球温暖化の危機の真っ只中にいます。

なぜ地球温暖化になったか。それは私たちがより良い生活を求め、経済を優先した結果です。多く作って多く使うという大量消費文明は、持続可能な地球1個分の限界を超え、氷雪を溶かし、水と緑の資源を減らし、残留汚染を増やしました。人間が自然を変えてしまった事実を学びました。

地球温暖化は私たちの生活をはじめ地球に様々な影響を及ぼし、思い切った対策を講じなければ人類の滅亡に向かって進んでいるという厳しい状況にあります。

しかし、国際会議の場で、エネルギーを大量使用している国は自国第一主義のため環境条約にサインをしません。

安い労働力で安く作られた大量の商品を、国内で作らず輸入しようとしています。

そして、いたる所で森林火災や豪雨災害、地震や津波などが起こっています。

人類が希望をもって生きていくために、私たちは地球温暖化という環境問題をしっかり学び把握していくこと。

その正しい知識や問題点を自分たちの中で留まらせることなく、世界各国の同世代の若者に伝え行動を起こしていくこと。

自分たちのより良い未来に向かって、力を合わせて、社会を作り変える一人となることを、ここに宣言します。

2020年12月6日

第28回「アフリカの子どもの日」 in Kumamoto 実行委員会

実行委員会参加校 熊本学園大附属高校 真和高校 済々黌高校 尚綱高校 千原台高校
熊本北高校 ルーテル学院高校 第一高校 大津高校 九州学院高校
熊本国府高校 熊本高校 必由館高校 マリスト学園高校
信愛女学院高校

☆2030年を人類の存亡をかけた10年ととらえ、SDGsを視野に今後も活発な活動の輪を広げたいと考えています。